

2021年度一般社団法人日本臨床化学会 第3回理事会（拡大理事会）web開催議事録

日 時：2021年11月4日（木）18：00-19：30

議 長：三井田孝（理事長）

出席者：三井田孝（理事長）、菅野光俊、三浦雅一、山田俊幸、吉田 博（以上 常務理事）

川崎健治、惠 淑萍、河野麻理、小谷和彦、酒瀬川信一、坂本秀生、柴田綾子、

城野博史、中川沙織、仁井見英樹、濱田悦子、村上正巳（以上 理事）

前川真人、矢富 裕（以上 監事）

康 東天（第61回年次学術集会長）、北島 勲（第62回年次学術集会長）

飯沼由嗣、大澤春彦、加藤公則、中山智祥、前田士郎、眞野成康、米田孝司（以上支部長）

欠席者：川野克己、堀田多恵子（以上 理事）、末廣 寛（支部長）、松本祐之（教育委員会委員長）

理事出席者数 17名（全理事数 19名）、全出席者数 28名

議 題

1. 開会の辞（三井田 理事長）

- ・理事総数 19名中 17名の出席があり理事会は成立した。
- ・理事長より開会の挨拶があった。

2. 第61回年次学術集会長挨拶（康 年次学術集会長）

- ・康 東天年次学術集会長より挨拶があった。

3. 議事録確認者の指名（三井田 理事長）

- ・中川沙織理事、吉田 博理事が指名された。

4. 報告事項

1) 庶務報告（山田 庶務担当理事）

①学会会員現状報告

- ・2021年10月25日時点で、正会員 1,389名、正会員（30歳未満）132名、評議員 169名となっており、会員数は増加している旨報告された。

②事業報告・事業計画

- ・2021年6月から11月までに開催された会議、学会誌発行について報告された。
- ・本理事会以降に開催予定の会議、学会誌発行、年次学術集会について報告された。

2) 2021年度会計中間報告（三浦 会計担当理事）

- ・2021年4月～9月までの会計について報告された。

3) 常置委員会報告

①編集委員会報告（城野 編集担当理事・委員長）

- ・「臨床化学」の刊行状況、ACB関連の状況について報告された。ACBの購読者を増やす策を継続して検討する。

- ・「臨床化学」冊子体廃止に伴う対応について下記のとおり報告された。

論文データ公開方法：PDFデータにパスワードを設定し公開する。パスワードは会員情報ページに掲載する。

広告企業ならびに購読者宛の対応：書面で通知するなど作業を進めている。

②国際交流委員会報告（坂本 国際交流担当理事・委員長）

- ・ IFCC WORLDFLAB SEOUL：2022年6月26日～30日に開催。
- ・ IFCC eNews：2020年度の学会賞受賞者に執筆を依頼し掲載済。今年度の受賞者にも同様に依頼する予定。
- ・ APFCB Congress 2022：上記のとおり IFCC と同時開催。
- ・ APFCB News：第60回年次学術集会報告と東大病院の研究報告を掲載済。次年度も同様に第61回年次学術集会報告を掲載予定。
- ・ IFCC-EFLM WORLDFLAB：2023年5月21～25日にローマで開催予定。

③教育委員会報告（濱田 教育担当理事）

- ・ 2021年度認定臨床化学者：新規5名、更新21名の申請があり、全員が審査に合格し承認された。
- ・ 認定臨床化学・免疫化学精度保証管理者 指定講習会：第61回年次学術集会最終日に指定講習会を開催（現地開催・オンデマンド配信）。
- ・ 認定臨床化学・免疫化学精度保証管理者制度：第5回認定試験を2022年2月6日（日）に文京学院大学で開催する。日本臨床衛生検査技師会とは別の日程での実施となる。
- ・ 認定臨床化学検査技師精度（仮称）：カリキュラムについて再検討中、今年度内には理事会に報告する予定。

④学術連絡委員会報告（山田 学術連絡委員会委員長）

- ・ 各専門委員会で実施しているプロジェクトの進捗状況が報告された。各プロジェクトの報告に関する資料について、①研究中、②研究終了・論文（報告書）投稿準備中、③論文（報告書）投稿中・掲載済、のどれかを選択できるように修正した。
- ・ プロジェクトに関する現行の内規では、プロジェクト終了後に3,000字程度の報告書を提出し、その後論文化するという手順になっているが、実状とあわないため改定を検討中。
- ・ 日本臨床検査医学会学術集会の共催シンポジウムについて、学術連絡委員会で企画案を取りまとめることになり、次年度はピットフォール研究専門委員会に依頼した。

⑤集会・広報委員会報告（吉田 集会・広報委員会委員長）

- ・ 委員会開催時、支部、専門委員会のホームページ担当者にも集まっていたき、更新状況を確認した。更新した際には事務局に連絡を入れていただければインフォメーション欄にも公開可能のため必要であれば通知をしてもらおう旨依頼した。
- ・ バナー広告を増やすため、バナー掲載の掲載位置を再検討中。また、バナー広告へのアクセス数の確認ができるかどうか業者に確認中。バナー広告のリンク先については、企業のトップページ以外でもリンクができるよう対応したい。企業懇話会にも依頼する予定。
- ・ 第65回年次学術集会長は状況を委員会で継続審議中。

⑥学会賞選考委員会報告（村上 学会賞選考委員会委員長）

- ・ 2021年度学会賞受賞者は、学術賞2名、奨励賞2名、技術賞2社、論文賞1名となった。

⑦法務委員会報告（柴田 法務担当理事・委員長）

- ・ 本年度の利益相反調査の回答率は94.1%（うち 資金提供有り29名、資金提供なし180名）で、未回答は13名であった。
- ・ 2年連続未回答者には例年通り書面を送付し、3年連続未回答者には評議員または委員を辞任し

ていただく場合がある旨記載のうえ通知する。ただし、評議員または委員を辞任していただくことについては、定款ならびに細則に規定がないため、今後委員会で検討する予定。

- ・回答用のフォーマットの改良点について再度検討し修正する。
- ・回答データの保管については、サーバやCDで5年間保管することとし、保管場所は事務局で検討する。
- ・年次学術集会時の利益相反開示について、開示していない方がいるかどうか、今年度も年会事務局に確認を依頼する。当面は同様の確認を継続する予定。投稿時にも利益相反の確認をする必要があるため、編集委員会に確認をお願いしたい。
- ・利益相反に関する指針および細則の作成を検討している。
- ・理事長より、常置委員会委員への開示依頼、勧告法総集編などの指針の際には1年以上の開示依頼など、規約に盛り込んでいただくよう検討してほしいとの要望があった。

⑧あり方検討委員会報告（川崎 会員担当理事・あり方検討委員会委員長）

- ・会員情報のデータのあり方について解析を行ったが、会員情報は個人での変更が必要であるため、正確なデータを得ることができなかった。
- ・会員情報の管理・更新について、会員担当理事から理事長に報告し、事務局からアナウンスをする予定。
- ・学生会員について、社会人大学生の場合、所属が不明な場合がある。会員情報の収集について、システム上に拡張項目（大学院名など）を作成し、今後活用していく。

⑨若手育成小委員会報告（小谷 若手育成小委員会委員長）

- ・若手育成のあり方や取り組みなどについて支部宛にアンケート調査を実施する。その結果を基に、年度内に全国的な勉強会を開催していきたい。

4) 支部報告

- ・下記9つの支部から支部総会・支部例会などの報告がなされた。

- ①北海道支部（恵 支部長）、②東北支部（眞野 支部長）、③関東支部（中山 支部長）、④甲信越支部（加藤 支部長）、⑤東海・北陸支部（飯沼 支部長）、⑥近畿支部（米田 支部長）、⑦中国支部（吉田 庶務担当理事）、⑧四国支部（大澤 支部長）、⑨九州支部（前田 支部長）

5) 企業懇話会報告（河野 企業懇話会世話人）

- ・企業の窓口を明確にするため、企業会員担当者・企業懇話会担当者の会員データを整備した。担当者の変更についても、ホームページから変更ができるようにした。
- ・企業シンポジウムは「企業の取り組み」として、3社からの発表を企画した。海外からの演者については、マレーシアの先生に依頼した。
- ・国際化を推進していくため、学会ホームページの英文化を検討してほしい。

6) 第62回年次学術集会報告（北島 年次学術集会長）

会 期：2022年9月30日（金）～10月2日（日）

会 場：富山県民会館

集会長：北島 勲（富山大学 理事・副学長）

副集会長：仁井見英樹（富山大学医学部 臨床分子病態検査学講座）

テーマ：異分野連携による臨床化学の発展

- ・来年は対面での開催にしたい。

7) 第 63 回年次学術集会報告 (吉田 年次学術集会長)

会 期：2023 年 10 月 27 日 (金) ～29 日 (日)

会 場：ソラシティカンファレンスセンター

集会長：吉田 博 (東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座)

8) 第 64 回年次学術集会報告 (山田 年次学術集会長)

集会長：山田俊幸 (自治医科大学)

- ・会期、会場については検討中。

5. 審議事項

1) 投稿規定改定について (城野 編集担当理事・委員長)

- ・冊子体廃止に伴い、投稿規定の改定案が提示され、承認された (別添資料)。
- ・PDF 作成のサイズは冊子体の B5 から A4 サイズに変更する旨も提案され、承認された。
- ・別刷りについては、希望する場合には事務局に連絡をしていただき、別途費用を請求する予定。
- ・提供する PDF は、編集やコピーなどは不可とし、ダウンロードと出力のみ可能とする。

2) ニュースレター掲載バナー広告について (三浦 会計担当理事)

- ・ニュースレターに掲載するバナー広告の料金設定について提案がなされた。バナー広告のリンク先をトップページ以外のページ (セミナー案内や商品案内など) とするなど、検討していく予定。企業懇話会でもご案内し、検討を進める。

3) 認定臨床化学・免疫化学精度保証管理者更新について (濱田 教育担当理事)

- ・2021 年度の認定臨床化学・免疫化学精度保証管理検査技師・管理者制度の休止を受けて、更新の申請に関する作業が進んでいなかった。そのため、認定臨床化学・免疫化学精度保証管理管理者の更新時期を最大 2 年間延期することとしたい旨提案があり、承認された。
- ・更新に関するセミナーなどを早めに準備し、ご案内をして手続きを進める。

4) 2022 年度選挙管理委員会について (三井田 理事長)

- ・2022 年度に実施する選挙に関する選挙管理委員は、任期が継続する理事の中から各分野 1 名ずつ選出する必要がある。理事長より委員候補者として下記 4 名の提案があり、承認された。

(1) 医師：吉田理事、(2) 教育・研究職：菅野理事、

(3) 医療職：堀田理事、(4) 産業系：河野理事

5) Invitation to host the IFCC WorldLab 2024 (三井田 理事長)

- ・IFCC から WorldLab 2024 について立候補の依頼があったが、本会としては立候補を見送りたい旨提案があり、承認された。

6. 閉会の辞 (三井田 理事長)

- ・理事長より挨拶があり、理事会は閉会した。

以 上

2021年11月19日

議長

三井田 孝



議事録確認者

吉田 博



議事録確認者

中山 沙織

